



(題字 小黒千足 学長)

第353号  
(平成6年5月号)



▲ 平成6年度富山大学永年勤続者表彰式  
(平成6年5月31日(火)事務局大会議室)

## 目 次

学 内 諸 報 .....	3	職 員 消 息 .....	10
◆ 富山大学永年勤続者の表彰 .....	3	お 知 ら せ .....	13
◆ 遼寧大学副学長来学 .....	4	諸 会 議 .....	14
◆ マレーシア青年指導者代表团一行が来学 .....	4	主 要 行 事 .....	15
◆ 学術講演会開催 .....	5		
◆ 海外渡航者 .....	5		
◆ 外国人来訪者 .....	6		
関 係 法 令 .....	7		
学 内 規 則 .....	7		
人 事 異 動 .....	9		
学 位 取 得 者 .....	10		



## 遼寧大学副学長来学

### —— 学長を表敬訪問 ——

本学と友好学術交流協定を締結している中国遼寧大学から顧奎相副学長が、両大学の友好を深めるため、去る5月24日（火）から28日（金）まで本学を訪問されました。

25日（水）、副学長は本学人文学部外国人教師呉麗艶先生と共に、学長を表敬訪問され、本学から、学生部長、

経済学部長、理学部長、附属図書館長及び事務局長も同席し、両大学の現状等についての情報交換及び今後の交流等について懇談が行われました。

顧副学長は26日（木）人文学部において「今日中国の改革とその周辺」と題して学術講演され、その後専門分野の東洋史関係教官等との交流が行われました。



▲学長を表敬訪問された遼寧大学顧奎相副学長(左)  
(学長室)



記念品を交換する本学学長と顧副学長

### 国際協力事業団招へいの

#### マレーシア青年指導者代表团一行が来学

国際協力事業団（協力団体：日本青年団協議会）が企画された「21世紀のための友情計画」に基づき、日本を訪れているマレーシア青年指導者の代表一行（5月25日から6月2日までの間富山県に滞在）25名が5月27日（金）本学を訪問しました。

これは、先に来学したマレーシア学生代表団、韓国学生代表团及びタイ青年指導者代表团に続いての来訪です。

代表团一行は事務局大会議室において小黒学長から歓迎の挨拶を受け、マレーシア青年団員一人一人が日本語で自己紹介を行ったのち富山大学の概要について説明を聴き、次いで「どこの学部が留学生には人気がありますか、マレーシア工科大学と友好協定を締結した理由は」等の活発な質疑応答が行われました。その後本学マレーシア留学生（経済学部経営学科4年生チャン・ケン・ハ

ンさん他7名）と懇談しました。

引き続き情報処理センターや水素同位体機能研究センターを見学したのち本学を後にしました。



▲本学概要を聴くマレーシア青年指導者代表团一行



▲パソコン操作の説明を聴くマレーシア青年団（情報処理センター）



▲学長から代表団一行に記念品を贈呈



▲水素エネルギー実験を見学（水素同位体機能研究センター）

## 学 術 講 演 会

### 「韓国語と日本語」

— その系統論的關係 —

去る5月25日（水）人文学部語学文学棟104番講義室において「韓国語と日本語—その系統論的關係—」と題して、韓国ソウル大学校人文大学の李基文教授による学術講演会が開催されました。

韓国語と日本語の系統論の研究史をふりかえりつつ、三国時代の高句麗、新羅、百済の言語は、夫餘・韓共通語という共通の祖語から分れた3つの別の言語であったとの仮説を述べられ、そのうち「三国史記」地理志の訓読表記に現れる高句麗語が日本語と極めてよく似た様相を呈しているという自説を、最近現れた異説にも反論を加えられながら、実証的に論じられました。学生及び教職員約40名が参加し、聴講者は氏の明快かつ精緻な論証に魅了されました。



▲「韓国語と日本語」の学術講演会（人文学部語学文学棟）

## 海外渡航者

渡航の種類	所属	職	氏名	渡航先国	目的	期間
海外研修	経済学部	教授	武井 勲	アメリカ合衆国	リスク・マネジメント国際会議に出席、調査	6. 4.13 } 6. 5. 4
	工学部	助手	駱 琴	アメリカ合衆国	自然言語と視覚情報に関する研究	6. 4.20 } 6. 8.14
	経済学部	助教授	澤野雅彦	連 合 王 国	西欧・東欧・アメリカ・アジアの比較経営研究のための打ち合わせおよび資料収集	6. 4.22 } 6. 5. 9
	教育学部	講師	徳橋 曜 韓	国	韓日西洋中世史研究集会で報告	6. 4.30 } 6. 5. 6

## 外国人来訪者

氏名 (国籍)	所属機関・職名	来学目的	本学受入れ先	期間
顧 奎 相 (中国)	遼 寧 大 学 副 学 長	学長表敬、講演、学術交流	本 部 人 文 学 部	6. 5.24 } 6. 5.27
マレイシア青年指導者 一行 25名	—————	国際協力事業団主催 「21世紀のための友情計画」 の一環として訪問	本 部 情 報 処 理 セ ン タ ー 水素同位体機能研究センター	6. 5.27
カーリー・ポールセン (アメリカ)	フランス国立科学研究所 低温科学研究部門研究員 (助教授)	共 同 研 究	理 学 部 ・ 教 授 櫻 井 醇 児	6. 5. 1 } 6. 5.16
エマニュエル・ フォーゲル (ドイツ)	ケルン大学 教 授	研 究 交 換 ・ 指 導 及 び 講 演	理 学 部 ・ 教 授 尾 島 十 郎	6. 5. 5 } 6. 5. 8
ウォルター・マーシャル (連合王国)	世界原子力発電事業者 協会(WANO)・特使	ヘルン文庫視察	附 属 図 書 館	6. 5.26
ジョン・C・バーナム (アメリカ合衆国)	オハイオ州立大学 教 授	同 上	附 属 図 書 館	6. 5.27

**関 係 法 令**

- (法 律)  
 ◦ 国立学校設置法の一部を改正する法律(32) 5. 20  
 ◦ 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(同12) 5. 20  
 ◦ 国立大学の学科及び課程並びに講座及び学科目に関する省令の一部を改正する省令(同13) 5. 20
- (省 令)  
 ◦ 文部省定員規則の一部を改正する省令(文部11) 5. 20

**学 内 規 則**

**富山大学学則の一部改正**

**富山大学学則の改正理由**

- 1 平成6年4月4日付け文高大第113号文部省高等教育局長通知に基づき、平成6年度から、経済学部学生定員の臨時増募を廃止するため、所要事項を改める。

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

平成6年5月20日

富山大学長 小黑 千足

**富山大学学則の一部を改正する規則**

富山大学学則(昭和59年3月12日全部改正)の一部を次のように改正する。

別表第2中

経済学部	経済学科		
	昼間主コース	159	636
	夜間主コース	20	80
	経営学科		
	昼間主コース	124	496
	夜間主コース	20	80
	経営法学科		
	昼間主コース	102	408
	夜間主コース	20	80
	計	445	1,780

経済学部	経済学科		
	昼間主コース	155	620
	夜間主コース	20	80
	経営学科		
	昼間主コース	120	480
	夜間主コース	20	80
	経営法学科		
	昼間主コース	100	400
	夜間主コース	20	80
計	435	1,740	
合 計		1,532	6,128
合 計		1,522	6,088

**附 則**

- 1 この学則は、平成6年5月20日から施行し、平成6年4月1日から適用する。
- 2 富山大学学則の全部を改正する学則(昭和59年3月12日制定)の一部を次のように改正する。

附則第3項を次のように改める。

- 3 別表第2に規定する入学定員には、当分の間、次に定める定員を含むものとする。

- 3 別表第2に定める収容定員は、平成6年度から平成8年度までは、次のとおりとする。

学 部	学 科	定 員
人 文 学 部	人 文 学 科	5人
	言 語 文 化 学 科	15
	計	20
理 学 部	数 学 科	3
	物 理 学 科	7
	化 学 科	3
	生 物 学 科	5
	地 球 科 学 科	2
	計	20
工 学 部	電子情報工学科	12
	機械システム工学科	11
	物質工学科	3
	化学生物工学科	11
	計	37
合	計	77

学 部	学 科 等	平成6年度	平成7年度	平成8年度
人文学部	人 文 学 科	330人	305人	280人
	国 際 文 化 学 科	80	120	160
	言 語 文 化 学 科	190	285	380
	計	600	710	820
教育学部	小学校教員養成課程	400	400	400
	中学校教員養成課程	200	200	200
	養護学校教員養成課程	80	80	80
	幼稚園教員養成課程	120	120	120
	情報教育課程	160	160	160
	計	960	960	960
経済学部	経 済 学 科			
	昼間主コース	632	628	624
	夜間主コース	80	80	80
	経 営 学 科			
	昼間主コース	492	488	484
	夜間主コース	80	80	80
経済学部	経 営 法 学 科			
	昼間主コース	406	404	402
	夜間主コース	80	80	80
	計	1,770	1,760	1,750
理学部	数 学 科	212	212	212
	物 理 学 科	188	188	188
	化 学 科	162	157	152
	生 物 学 科	160	165	160
	地 球 科 学 科	128	128	128
	生物圏環境科学科	60	90	120
	計	910	940	960
工学部	電子情報工学科	528	528	528
	機械システム工学科	404	404	404
	物質工学科	332	332	332
	化学生物工学科	344	344	344
	計	1,608	1,608	1,608
合	計	5,848	5,978	6,098

## 富山大学教育学部附属学校規則の一部改正

### 富山大学教育学部附属学校規則の改正理由

- 平成6年4月4日付け文高大第113号、文部省高等教育局長通知に基づき、附属養護学校の学級定員が改訂されたことに伴い、所要事項を改める。
- その他字句の整備を行う。

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

平成6年5月20日

富山大学長 小黒 千足

富山大学教育学部附属学校規則の一部を改正する規則

富山大学教育学部附属学校規則（昭和41年1月17日制定）の一部を次のように改正する。

第8条の表を次のように改める。

区 分		学 級 数	学級定員	収容定員
小学校	普通学級	12	40人	480人
中学校	普通学級	12	40人	480人
養護学校	小学部	3	6人	18人
	中学部	3	6人	18人
	高等部	3	8人	24人
幼稚園	普通学級	3歳児	1	20人
		4歳児	2	35人
		5歳児	2	35人

附 則

- この規則は、平成6年5月20日から施行し、平成6年4月1日から適用する。
- 第8条の表に定める養護学校の小学部の収容定員は、同条の表の規定にかかわらず、平成6年度から平成9年度までは、次のとおりとする。

区 分		平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度
養護学校	小学部	20人	20人	19人	19人

- 第8条の表に定める養護学校の中学部及び高等部の収容定員は、同条の表の規定にかかわらず、平成6年度及び平成7年度は、次のとおりとする。

区 分		平成6年度	平成7年度
養護学校	中学部	20人	19人
	高等部	28人	26人

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容
採 用	6. 5. 16	太田 茂徳		助手（人文学部）
	6. 6. 1	柳原佐智子		”（経済学部）
臨時的任用の更新	6. 5. 11	田中 則人	教 諭（教育学部附属小学校）	臨時的任用を更新する（～6. 6. 30）
休職更新	6. 5. 22	前田あけみ	助教授（教育学部）	休職の期間を平成6年10月14日まで更新する
退 職	6. 6. 1	藤井 友美	事務補佐員（教育学部）	平成6年5月31日限り退職した
辞 職	6. 5. 31	宮田 良造	臨時用務員（人文学部・理学部作業員）	辞職を承認する
採 用	6. 4. 21	チヤヒヨノ ウィボウ		教務補佐員（庶務部企画室）
	”	山本 将之		”（ ” ）
	”	渡邊 真弘		”（ ” ）
	”	水巻 純一		”（ ” ）
	”	向後 智子		”（ ” ）
	”	増野 武裕		”（ ” ）
	”	沖 昌也		”（ ” ）
	”	音 謙一		”（ ” ）
	”	柴田 元衛		”（ ” ）
	”	野村和佳子		”（ ” ）
併 任	6. 4. 21	宮本 淳	技術補佐員（経理部主計課）	教務補佐員（庶務部企画室）（～6. 6. 30）
	”	石原 学	”（ ” ）	”（ ” ）（ ” ）

# 学 位 取 得 者

学位取得者 工学部 助手 前田 寧  
 学位の種類 工学博士（京都大学）  
 取得年月日 平成6年5月23日  
 学位論文名 Studies on the Hydration of Water-Soluble Polymers and the Effects of Hydration on Their Properties.  
 （水溶性高分子の水和と高分子の性質に対する水和効果に関する研究）

# 職 員 消 息

## <住所変更>

### 事務局

施設課 津島 康二  
 文部技官  
 （工 営 係）

### 教育学部

講 師 水谷 秀樹  
 （保健体育）

### 理学部

助 教 授 竹内 章  
 （地球進化学）

教務職員 田中 るみ  
 （地球科学科）

### 工学部

助 手 駱 琴  
 （基礎情報工学）

事務補佐員 柿谷 紀代子  
 （機能性材料工学）

## <新任者住所>

### 人文学部

助 教 授 若尾 政希  
 （人間基礎論）

助 教 授 藤田 秀樹  
 （英米言語文化）

講 師 中村 靖子  
 （ヨーロッパ言語文化）

外国人教師 フェダーホルト・キャレン  
 （英米言語文化）

### 教育学部

教 授 山 極 隆  
 （附属教育実践  
 研究指導  
 センター）

教 授 松村 晴路  
 （家政教育）

助 教 授 榎 沢 良 彦  
(幼 児 教 育)

教 諭 鎌 谷 亜 由 美

文 部 事 務 官 有 沢 隆 一  
(学 務 係)

教 諭 丸 田 万 里 子

事 務 補 佐 員 田 上 智 子  
(学 務 係)

附 属 幼 稚 園

教 諭 横 山 文 樹

附 属 小 学 校

教 諭 草 野 剛

経 済 学 部

教 授 星 野 富 一  
(理 論 経 済 学)

教 諭 原 野 克 憲

講 師 中 村 和 之  
(応 用 経 済 学)

附 属 中 学 校

副 校 長 尾 島 隆 保

講 師 宇 野 齊  
(経 営 学)

教 諭 藤 井 克 弘

講 師 岸 本 壽 生  
(応 用 経 営)

教 諭 京 和 慶

講 師 岩 内 秀 徳  
(経 営 学)

附 属 養 護 学 校

教 諭 安 田 里 美 子

講 師 伊 藤 司  
(民 事 法)

教 諭 酒 井 美 音 子

講 師 小 畑 史 子  
(企 業 関 係 法)

文部事務官 (庶務係) 松田 晃	文部技官 宮嶋 俊明 (機能性材料工学)
文部事務官 (教務係) 山田 豊	文部事務官 荒木 義弘 (用度係)
理学部 助教授 清棲 保弘 (環境化学計測)	事務補佐員 佐倉 珠美 (生産システム工学・ 材料設計工学)
助手 石原 卓 (情報数理)	事務補佐員 田子 夏恵 (生産システム工学・ 制御システム工学)
助手 池本 弘之 (物性物理学)	附属図書館 事務補佐員 青山 拓也 (閲覧係)
助手 渡邊 了 (地球圏物理学)	事務補佐員 大久保 英 (閲覧係)
助手 蒲池 浩之 (生物圏機能)	事務補佐員 松田 充子 (閲覧係)
工学部 助教授 磯部 正治 (細胞工学)	事務補佐員 大岩 満美子 (閲覧係)
助手 岡根 正樹 (強度設計工学)	文部事務官 片桐 茂 (総務係)
助手 笹木 亮 (制御システム工学)	文部事務官 光地 浩和 (受入係)
助手 須加 実 (細胞工学)	文部事務官 種田 ヨシエ (閲覧係)
	文部事務官 吉田 恵吉 (学術情報係)

# お知らせ

## 他大学の自己点検評価報告書の供覧について

本年4月31日現在、新たに本学に送付された他大学の自己点検評価報告書は、下記のとおりです。(掲載済みのものは除く。)

ご利用の際は、各配置先にご連絡下さい。

大 学 名	報 告 書 名	発 行 年 月	学内配置先	
			図書館	企画室
浜松医科大学	19年の歩みと今後の課題	平成5年10月	1	—
高知医科大学	高知医科大学自己点検・評価報告書	平成6年1月	1	—
神戸商科大学	神戸商科大学自己点検・評価報告書	1993年11月	1	—
京都教育大学	京都教育大学の現状と課題	平成6年1月	1	—
和歌山大学	和歌山大学の現状と課題	平成5年12月	1	—
神戸大学工学部	神戸大学工学部における教育と研究 -工学の原点を見つめて-	1993年11月	1	—
上越教育大学	上越教育大学年次報告書	平成5年12月	1	—
鹿児島大学教養部	教養部の現状と課題	平成6年3月	1	—
弘前大学教養部	教養部の現状と課題	1994年3月	1	—
琉球大学	琉球大学発展への道	平成6年2月	1	—
北海道大学	北大のルネサンスを目指して -北海道大学の現状と課題-	平成6年3月	1	—
武蔵野女子大学・ 武蔵野女子短期大学部	現 状 と 課 題	平成6年3月	1	—
鳥取大学	鳥取大学の現状と課題	平成5年12月	1	—
茨城大学	茨城大学学生の生活と意義に関する実態調査結果の概要	平成6年3月	1	—
大阪女子大学	大阪女子大学 ～現状と改革1994年～	平成6年2月	1	—
岡崎国立共同研究機構 分子科学研究所	分子研レポート'93 現状・評価・課題	平成6年3月	1	—
宇都宮大学教養部	宇都宮大学教養部自己点検・評価報告書	平成6年3月	1	—
島根大学	島根大学の現状と課題(Ⅲ)開かれた大学教育の実現をめざして	平成6年3月	1	—
埼玉大学	大学教育の充実を目指して	平成6年3月	1	—
静岡大学教養部	自 己 評 価 報 告	1994年3月	1	—
神戸商船大学	神戸商船大学現状と課題	平成6年3月	1	—
名古屋市立大学	名古屋市立大学自己点検・評価報告書(総論・資料編)	平成6年3月	1	—
愛媛大学	これでいいのか愛媛大学 その2	1994年3月	1	—
静岡県立大学	静岡県立大学の現状と課題	平成6年4月	1	—
日本獣医畜産大学	日本獣医畜産大学現状と課題 1988-1992	1993年12月	1	—
岐阜大学	明日をめざす岐阜大学	平成6年3月	1	—
東京水産大学	東京水産大学 -現状と課題-	平成6年3月	1	—
長崎大学工学部	長崎大学工学部・工学研究科研究教育報告第2号	平成6年5月	1	—
東北大学	東北大学自己評価報告書	平成6年3月	1	—

# 諸 会 議

平成6年度第1回部局長懇談会（4月15日）

（議 題）

- (1) 当面の諸問題について
- (2) その他

平成6年度第1回附属図書館商議会（4月19日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度附属図書館運営費について
- (2) その他

平成6年度第1回大学院委員会（4月15日）

（審議事項）

- (1) 平成6年度富山大学大学院教育学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (2) 平成6年度富山大学大学院工学研究科（博士後期課程）入学試験合格者の判定について
- (3) その他

平成6年度第1回事務協議会（4月20日）

（議 題）

当面の諸課題について

平成6年度第1回授業料等減免選考委員会（4月21日）

（議 題）

- (1) 平成6年度大学院入学生の入学料免除者の選考について
- (2) 平成6年度学部入学生の入学料免除者の選考について
- (3) 授業料免除者選考基準について
- (4) その他

平成6年度第1回評議会（4月15日）

（審議事項）

- (1) 富山大学名誉教授称号授与について
- (2) 学生の除籍について
- (3) 転学部について
- (4) 大学祭における休講措置について
- (5) その他

第1回富山大学生涯学習教育研究センター準備委員会

（4月15日）

（議 題）

- (1) 委員長の選出について
- (2) 今後の進め方について
- (3) その他

## 『平成6年度環境月間』

期 間

平成6年6月1日(水)～6月30日(木)

テーマ

“地球とはもっとなかよくなれるはず”

# 主 要 行 事

本 部	
4月1日	事務系辞令交付
4日	新任課長辞令交付 事務局長就任挨拶 第1回部課長会議
5日	第1回国際交流委員会学術交流部会
6日	所掌事項説明
7日	所掌事項説明
8日	第1回学生生活協議会 教務事務担当者打合せ会
11日	入学式、オリエンテーション（富山市公会堂） 第1回教養教育委員会企画専門委員会
11～12日	学生団体オリエンテーション
12日	第2回部課長会議
12～13日	平成6年度国立学校等施設実態調査説明会 （東京医科歯科大学）
13日	外国人留学生（学部新入生） オリエンテーション 各学部オリエンテーション
14日	第1回放射性同位元素総合実験室運営委員会 厚生補導関係事業計画書ヒアリング（文部省）
14～15日	文部省ヒアリング（一般設備費等）
15日	第1回部局長懇談会 第1回大学院委員会 第1回評議会 第1回生涯学習教育研究センター準備委員会 宮繕関係ヒアリング（文部省）
18日	日本育英会奨学事務説明会（名古屋）
19日	国立大学協会第1常置委員会（国立大学協会） 留学生指導相談室運営委員会 国際交流委員会留学生部会
19～20日	新設の大学院教育学研究科修士過程及び同工学 研究科博士後期課程入学手続き
20日	第1回事務協議会 第6回全国生涯学習フェスティバル第2回実行 委員会（高志会館） 日本育英会奨学生願書配布説明会 就職に関する講演会
21日	大学院教育学研究科修士課程及び同工学研究科 博士後期課程入学式（黒田講堂） 授業料免除等減免選考委員会
21～22日	第80回東海・北陸地区国立学校等会計系部課長 会議（宇奈月国際会館）
22日	自己点検評価委員会委員長と各主査・副主査の 打合せ会 第1回国際交流委員会
25日	名誉教授称号記授与式 黒田講堂運営委員会
26日	学内概算要求ヒアリング 平成6年度名古屋工事事務所管内国立学校施設 担当部課長会議 （名古屋工事事務所） 学務関係係長会議
27日	平成6年度中部地区人事担当課長会議（金沢） 構内交通対策委員会小委員会 構内一斉清掃
28日	第1回教養教育委員会実施専門委員会 第1回放射性同位元素総合実験室自己点検評価 委員会 大学就職担当者との懇談会（名古屋）
人 文 学 部	
4月1日	係長会議
11日	大学院人文科学研究科新入学生オリエンテーション
12日	学部入学者選抜方法検討委員会 学部教務委員会 教授会 教授会（人事） 大学院人文科学研究科委員会
13日	学部新入生オリエンテーション 新入生健康診断 学部自己点検評価委員会
14日	前学期授業開始
20日	学部就職指導委員会 教授会（人事） 学部自己点検評価委員会

- 25日 係長会議  
学部教育実習委員会
- 27日 五福地区構内清掃  
教授会  
教授会（人事）  
大学院人文科学研究科委員会

教 育 学 部
---------

- 4月4日 教育学研究科委員会  
附属小学校第1学期始業式
- 4～6日 教育学研究科入学願書受付
- 5日 附属小学校入学式
- 6日 学部学生生活委員会  
学部教務委員会  
人事教授会  
教授会  
附属中学校第1学期始業式
- 7日 附属中学校入学式  
附属養護学校及び附属幼稚園第1学期始業式
- 8日 附属養護学校入学式
- 11日 係長連絡会
- 12日 教育学研究科（修士課程）入学者選抜検査  
附属幼稚園入園式
- 13日 学部新入生オリエンテーション  
学部自己点検評価委員会
- 14日 学部授業開始
- 15日 教育学研究科委員会  
教育学研究科（修士課程）合格者発表
- 20日 学部教務委員会  
人事教授会  
教授会  
健康診断（新入生）
- 21日 教育学研究科新入生オリエンテーション
- 22日 教育学研究科（修士課程）授業開始
- 25日 係長連絡会  
学部将来計画委員会
- 26日 紀要編集委員会
- 27日 健康診断（大学院生及び2年次以上）  
学部自己点検評価委員会

経 済 学 部
---------

- 4月4日 係長会議
- 5日 学部教務委員会
- 6日 論集委員会（持ち回り）  
人事教授会  
教授会  
学部留学生委員会
- 11日 夜間主コース新入生オリエンテーション  
（於 富山市民プラザ）
- 12日 学部学生生活委員会（持ち回り）
- 13日 学部入学方法検討委員会  
コンピュータ管理運営委員会  
昼間主コース新入生オリエンテーション  
昼間主コース各学科オリエンテーション  
新入生健康診断
- 14日 学部図書委員会  
夜間主コース各学科オリエンテーション  
前学期授業開始
- 18日 大学院研究科委員会小委員会
- 19日 学部自己点検評価委員会  
博士課程設置検討委員会
- 20日 学部教務委員会  
大学院経済学研究科委員会  
教授会  
助手室業務運営委員会
- 22日 学部学生生活委員会
- 25日 係長会議

理 学 部
-------

- 4月4日 学部教務委員会  
理学部案内編纂委員会
- 5日 大学院設置構想推進委員会  
学科長会議
- 6日 教授会  
大学院理学研究科委員会  
人事教授会  
大学院理学研究科委員会専任教授会
- 7日 学部学生生活委員会
- 8日 学部就職指導委員会
- 13日 学部新入生オリエンテーション  
新入生健康診断
- 14日 前学期授業開始

- 19日 理学部案内編纂委員会
- 20日 学部自己点検評価委員会
- 26日 理学部案内編纂委員会
- 27日 理学部案内編纂委員会
- 28日 学部入試改善委員会

### 工 学 部

- 4月1日 係長連絡会
- 6日 工学部教務委員会  
教授会  
研究科委員会  
専任教授会  
博士後期課程委員会
- 8日 学部運営委員会
- 11日 入学式（学部・博士前期課程）  
係長連絡会
- 12日 博士後期課程入学試験
- 13日 工学部オリエンテーション  
博士後期課程委員会
- 14日 授業開始（学部・博士前期課程）
- 15日 工学部教官要覧編集委員会  
博士後期課程入学試験合格者発表
- 20日 健康診断（平成6年度新入生）
- 21日 大学院入学式（博士後期課程）
- 22日 博士後期課程授業開始  
博士後期課程委員会
- 25日 不二越工業高校3年生が工学部見学
- 27日 工学部入学試験検討委員会
- 28日 係長連絡会  
工学部教務委員会

### 附 属 図 書 館

- 4月12日 係長連絡会
- 19日 第1回附属図書館商議会
- 21～22日 第45回北陸信越地区国立大学図書館協議会  
（於：KKR加賀）
- 25日 駐日アイルランド大使「ヘルン文庫」視察
- 27日 係長連絡会

### 地域共同研究センター

- 4月12日 地域共同研究センター研究分野見直し検討委員会
- 14日 地域共同研究センター講演会「スメクチック液晶  
－その物性と応用－」
- 19日 第1回大学院生教育講座
- 22日 地域共同研究センター運営委員会

### 保健管理センター

- 4月13日 健康診断（新入生・人・経・理学部）
- 20日 健康診断（新入生・教・工学部）
- 25日 X線間接撮影
- 27日 健康診断（在学生・教育学部）

編 集 富山大学庶務部庶務課  
富山市五福3190  
印刷所 あけぼの企画株式会社  
富山市住吉町1丁目5-18  
電話(24)1755(代)